

目次

[今週号は 2021 年 9 月 24 日時点の情報を基に作成しています]

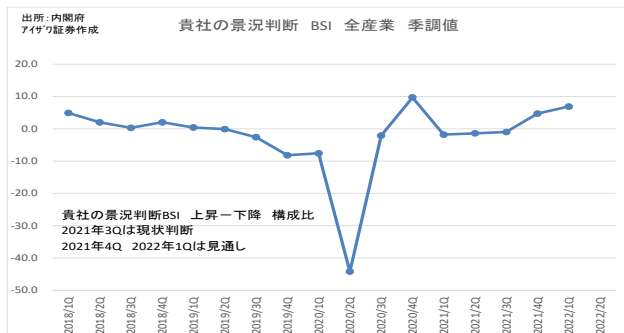
投資コラム	: 最近の経済指標	1
日本株銘柄情報	: ラクト・ジャパン (3139)	2
日本株銘柄情報	: グレイステクノロジー (6541)	3

最近の経済指標

笹木 義次

2021 年 7 月から 9 月の法人企業景気予測調査が発表されました。「貴社の景況判断」BSI として企業の景況感が示されています。BSI とは、前四半期と比較して、企業の景況感が上昇したとする構成比から、企業の景況感が下降したとする構成比を引いたものです。これがプラスなら企業の景況感は改善傾向にある事を示し、マイナスなら企業の景況感は悪化傾向にある事になります。

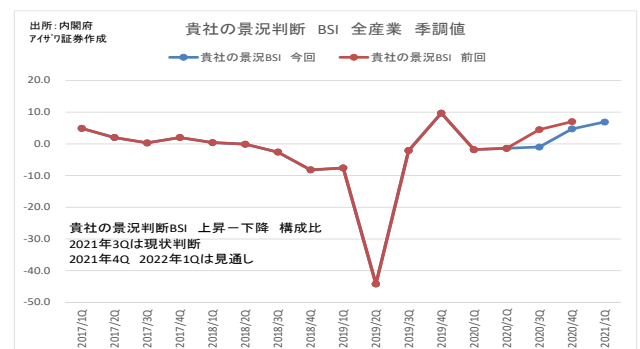
2021 年 7 月～9 月の大企業の「貴社の景況判断」BSI 全産業は 3.3%ポイントとなり、前回調査のマイナス 4.7%ポイントから改善しました。しかし、前回調査見通しの 7.7%ポイントは下回りました。



改善を示していますが、見通しに対して下方修正されている事から思ったほど改善しなかったと理解しています。

大企業の「貴社の景況判断」BSI の見通しは改善を予測していますが、見通しに対して実績の下方修正が続いている事から、改善幅は縮小すると推測しています。

「貴社の景況判断」BSI は日銀短観の業況判断 DI に先立って発表されます。そのため業況判断 DI を示唆するものになると理解しています。10 月 1 日に 9 月調査の日銀短観の発表が予定されています。9 月の業況判断 DI は、6 月調査の予測並みに留まると推測しています。先行き 12 月調査の業況判断 DI は、改善するが、思ったほど改善しないと見ています。



ラクト・ジャパン (3139)

笹木 義次

株価指標

株価 (2021/9/24)	2,848.0 円
売買単位	100株
市場	東証1部
時価総額	282 億円

乳製品原料の専門商社

ラクト・ジャパンは、乳製品原料・チーズなどの輸入を中心とする食品の専門商社です。アジアで、乳製品原料の販売事業やチーズの製造販売事業も行っています。ラクト・ジャパンは、世界の主要な生乳産地に有力な仕入れ先を持っている事が強みです。

競争力が発揮された決算に

ラクト・ジャパンの2021年11月期上半期の業績は、売上高が526億48百万円と前年同期比で9.1%の減収に、為替調整後経常利益は14億71百万円となり前年同期比で3.9%の増益でした。販売数量が減少する中で、為替調整後の経常利益は前年同期比で増益となりました。商品の調達力を活かして競争力ある商品を供給出来たからです。また、アジアでのチーズ製造販売事業が好調だったことも増益に寄与しました。

乳製品原料の販売数量は前述の通り、9万1993トンとなり前年同期比では6.4%の減少となりました。ただし、四半期で見ると、第1四半期の4万3141トンを底に第2四半期は4万8852トンとなり、前四半期比では増加に転じています。国産の乳製品原料の取扱高が増加した事や輸入乳製品原料に対して一定の需要が確保されたからです。

アジアのチーズ製造販売事業の売上高は 16

<業績の推移>

決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
2019/11	116,794	3,144	2,746	1,963	200.1	22.0
2020/11	110,837	2,958	2,780	2,062	209.5	30.0
2021/11計	115,000	NA	2,810	2,010	204.1	32.0

単位:百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。

<投資指標>

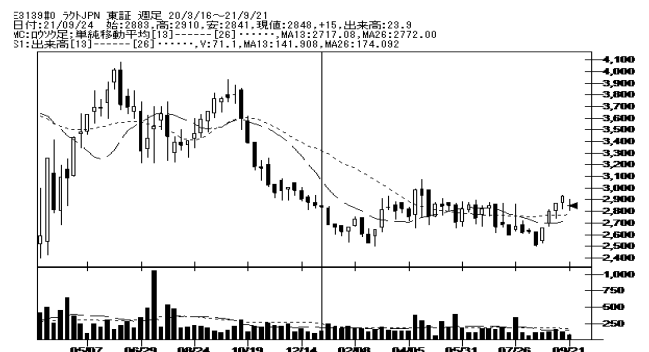
指標	数値
今期予想PER	13.9 倍
PBR	1.50 倍
予想配当利回り	1.12 %

億 89 百万円と前年同期比で 24.9%の増収となりました。販売数量が 2334 トンと前年同期比で 17.7%の増加となったからです。コロナ禍でも、東南アジアの内食向け需要や増加している中国の需要を取り込むことで、販売数量は増加しました。チーズ製造販売は、乳製品原料の取引に比べて利益率が高い事業です。チーズ製造販売事業の売上構成比が高まることで、利益貢献度も高まっています。

通期は上方修正

ラクト・ジャパンでは2021年11月期の業績は、売上高が1150億円と前年比で3.8%の増収を、経常利益は28億10百万円と前年比で1.1%の増益を計画しています。上半期の業績は上方修正しましたが、今下期の業績計画はやや慎重なものとなっています。不透明な事業環境が継続すると見ているからです。

筆者は、ラクト・ジャパンの2021年11月期の業績は、売上高が1170億円と前年比で5.6%の増収を、経常利益は29億円と前年比で4.3%の増益になると予測しています。下期においても競争優位性が維持される事から、通期でも増益を予測しています。



(C) QUICK Corp. All rights reserved. 出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

グレイステクノロジー (6541)

笹木 義次

株価指標

株価 (2021/9/24)	1,070.0 円
売買単位	100株
市場	東証1部
時価総額	304 億円

マニュアル制作と関連サービスを提供

グレイステクノロジーは、主に産業機械メーカー向けにマニュアル制作とそれに関連するサービスを提供しています。マニュアル導入のコンサルティングからマニュアル制作のサービスを提供している MOS 事業と、マニュアル制作と管理に特化した「e-manual」というクラウドサービスを行っている MMS 事業の2つの事業から構成されています。

MMS が苦戦

グレイステクノロジーの 2022 年 3 月期第 1 四半期の業績は、売上高が 7 億 34 百万円と前年同期比で 78.7%の増収に、営業利益は 1 億 7 百万円と前年同期比で 48.8%の減益となりました。売上高は HOTARU の連結化の効果で増収となりました。利益率の高い MMS 事業が減収となった事で、営業利益は減益となりました。

HOTARU は順調

MMS 事業の業績は、売上高が 1 億 31 百万円と前年同期比で 60.8%の減収に、セグメント利益は 50 百万円と前年同期比で 78.7%の減益となりました。営業活動が制限され「e-manual」の導入のためのコンサルティング案件が低調となったからです。MOS 事業の業績は、売上高が 6 億 3 百万円と前年同期比で 7.6 倍に、セグメント利益は 1 億 79 百万円と前年

<業績の推移>

決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
2020/3	1,903	953	947	659	23.7	15.0
2021/3	2,691	1,164	1,177	1,076	37.9	18.0
2022/3計	4,200	1,200	1,180	802	28.3	NA

単位:百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。

注意:2021年4月1日付で1株につき2株の株式分割を行いました。1株利益、1株配当は過去遡及しています。

<投資指標>

連結	
今期予想PER	37.8 倍
PBR	9.74 倍
予想配当利回り	NA %

同期比で 4.3 倍の増益となりました。HOTARU の連結化の効果で増収増益となりました。HOTARU の売上高は 5 億 80 百万円となりました。主力の顧客であるダイキン向けの案件が寄与したからです。HOTARU のほとんどの売上高は MMS 事業に含まれています。しかし、2022 年 3 月期第 1 期四半期から、MMS 事業においても売上高が計上されています。グレイステクノロジーによる PMI の効果で、「e-manual」の導入のためのコンサルティングを行ったからです。

下期から回復見込む

グレイステクノロジーでは、2022 年 3 月期の業績は、売上高が 42 億円と前年比で 56.1%の増収を、営業利益は 12 億円と前年比で 3.0%の増益を計画しています。期初計画を据置いています。筆者はグレイステクノロジーの 2022 年 3 月期の業績は、売上高が 43 億 20 百万円と前年比で 60.5%の増収を、営業利益は 14 億 80 百万円と前年比で 27.1%の増益になると予測しています。買収した HOTARU の業績寄与を見込んでいるからです。

2654100 グレイステクノロジー 2020/9/18~21/9/21
日付:21/09/24 始:1070 高:1085 安:1065 前日:1070 +48 出来高:508.1
V:1070 MA13:1252.77 MA26:1786.04
SI:出来高[13]-----[26]-----V:1546.2 MA13:3844.169 MA26:3872.627



(C) QUICK Corp. All rights reserved.

出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE公式アカウント
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa